

# 伝統的構法の設計法作成および性能検証実験検討委員会主催 第1回シンポジウム 金沢

日時：平成22年9月12日（日曜日） 13:30～17:20（12:30受付）

会場：金沢工業大学扇が丘キャンパス 多目的ホール

〒921-8501 石川県石川郡野々市町扇が丘7-1

参加費：無料（定員250名）

参加のお申込はNPO法人緑のネットワークHPより

<http://www.green-arch.or.jp/dentoh/>

「伝統的構法の設計法作成及び性能検証実験」検討委員会では、伝統構法を未来につないでいくために、石場建てを含む伝統構法を構造力学的に解明し、実務者が実践的に使える設計法を確立することを目指しています。

シンポジウムでは、唐招提寺金堂の保存修理から古代からの伝統構法を読み解き、また検討委員会での課題となっています伝統的構法の継ぎ手・仕口の歴史的背景、振動論に基づく設計法の考え方、耐震設計で重要な構造要素について解説します。

平成23年1月に実施する伝統構法木住宅の実大振動台実験について概説します。木造、特に伝統構法に関心のある方々のご参加をお待ちしています。



## プログラム

12:30～ 受付開始

13:00～ 開場

13:30～ 開会

司会進行 緑の列島ネットワーク 大江 忍

13:30～13:45

主催者挨拶 金沢工業大学建築学科教授 後藤 正美

来賓挨拶 金沢市副市長 森 源二

## 第一部

13:45～14:45 基調講演

「古代を解く：唐招提寺金堂の保存修理を終えて」

株式会社 竹中工務店 大阪本店設計部 プリンシパルエンジニア

長瀬 正

14:45～15:00 休憩

## 第二部

15:00～ シンポジウム 司会進行

金沢工業大学建築学科教授 浦 憲親

伝統的構法の継ぎ手・仕口について

名古屋工業大学大学院工学研究科教授 麓 和善

振動論による設計法の考え方

広島国際大学工学部建築学科教授 斎藤 幸雄

構造要素の評価について

金沢工業大学建築学科教授 後藤 正美

伝統構法の実大振動台実験について

立命館大学グローバル・イノベーション研究機構教授

鈴木 祥之

16:45～17:20 質疑・応答 総括

主催：伝統的構法の設計法作成及び性能検証実験検討委員会

共催：金沢工業大学

後援：国土交通省・石川県・金沢市

社団法人 日本構造技術者協会中部支部北陸部会

社団法人 石川県建築士事務所協会

事務局：NPO法人 緑の列島ネットワーク

（当委員会補助事業者）

## 基調講演

「古代を解く：唐招提寺金堂の保存修理を終えて」

株式会社 竹中工務店 大阪本店設計部 プリンシパルエンジニア

長瀬 正

平成 10 年から始まった国宝唐招提寺金堂の保存修理が 21 年の秋に落慶を迎えて完了しました。明治の修理から丁度 100 年を経た今回の平成修理は、材料の経年劣化に対する部材補修というよりも、柱の内倒れの原因を解いてその補強を求めるものでした。今回のように、国宝である古代木造建造物への大々的な構造解析の適用は画期的なことです。構造技術者として解体修理に参画して、古代の技を解き明かすために行った構造調査・実験・解析と構造補強の概要を、10 年間の修理記録と併せて紹介します。

## 伝統的構法の継ぎ手・仕口について

名古屋工業大学大学院工学研究科教授

麓 和善

## 振動論による設計法の考え方

広島国際大学工学部建築学科教授

斎藤 幸雄

建物の耐震設計は地震時の建物の挙動（応答）をできるだけ明らかにすることで、合理的でかつ安全な設計が可能になるはずである。このことは建物の耐震設計には振動論が必要であることに他ならない。2000 年の法改正に伴って導入された限界耐力計算は簡易法ではあるが地震時の応答を求めることができ、伝統構法建物の新築や耐震診断・耐震補強に適用されてきたことで、伝統構法の振動特性が明らかになってきたと言える。そこで、改めて現行の他の計算法も含めて、振動論的な見地から設計法について考えてみたい。

## 構造要素の評価について

金沢工業大学建築学科教授

後藤 正美

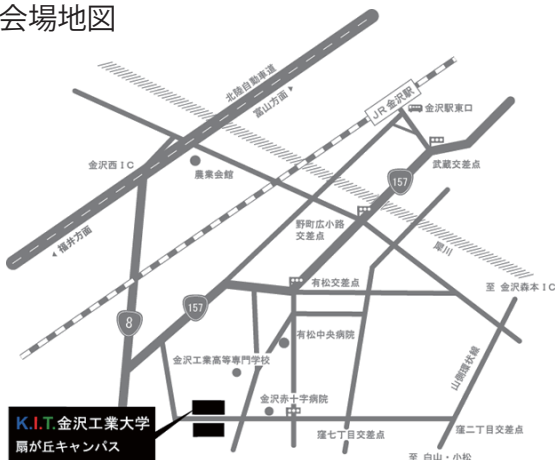
## 伝統構法の実大震動台実験について

立命館大学グローバル・イノベーション研究機構教授

鈴木 祥之

伝統構法木造建築物の設計法の構築を目的として、伝統構法の構造力学的な解明とともに大地震時の挙動を明らかにするために、伝統構法木住宅の実大試験体を製作して振動台加振実験を平成 23 年 1 月に E-ディフェンス（兵庫県三木市）で実施します。石場建て構法での柱脚の移動に注目し、柱脚と礎石との摩擦と上部建物の耐力などとの関係を明らかにします。これにより、伝統構法の設計クリテリアと耐震性能を検討し、設計法に役立てる。なお、公開実験を企画していますので日程等が決まれば、HP 等でご案内します。

## 会場地図



## 金沢駅方面から 開催時刻に間に合うための 公共交通機関利用アクセス

### <バス利用>

- 金沢東口 8 番のりば
- 12:07 発
- 工大前行き  
(久安大橋経由)
- 12:37 着
- 工大前

★歩いて5分で、会場に到着

### <電車利用>

- 金沢
- 12:29 発
- JR北陸本線(普通)[小松行]
- 12:32 着
- 西金沢
- 12:32 発
- 徒歩
- 12:34 着
- 新西金沢
- 12:43 発
- 北陸鉄道石川線(普通)[鶴来行]
- △12:48 着
- 野々市工大前
- ★歩いて15分で、会場に到着

シンポジウムについてのお問い合わせ先

NPO 法人 緑の列島ネットワーク dentoh@green-arch.or.jp TEL 052-566-0074

<http://www.green-arch.or.jp/dentoh/>